



向陽高校は、スーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、3年目に入りました。



2年環境科学科 「SS探究科学Ⅱ」 選択生が、



平成20年3月11日(火)の5限、環境科学科2年「SS探究科学Ⅱ」選択生が、向陽中学3年生を対象に一年間行ってきた課題研究成果についてポスターセッションを行いました。テーマ別課題研究は、物理・化学・生物・数学(情報)・環境のゼミに分かれ、取り組んできました。中学生たちは、各々興味のあるポスター発表の前で説明を受け、研究内容についていろいろと質問をしていました。

SSH報告

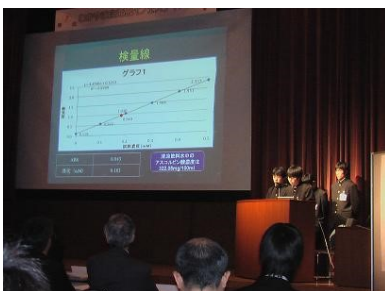
2年環境科学科
「SS探究科学Ⅱ」選択生が
向陽中学3年生に
ポスターセッション発表

第1回
わかやま自主研究
フェスティバル成果発表会
参加



第1回わかやま自主研究フェスティバル成果発表会で発表

環境科学科2年 「化学ゼミ アスコルビン酸研究グループ」と

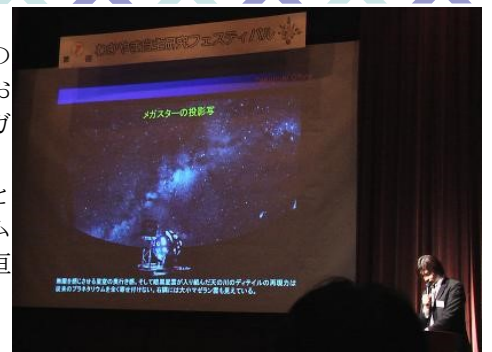


平成20年3月28日(金)、和歌山県立図書館(きのくに志学館)2Fのメディアアートホールおよび研修・講義室において、第1回わかやま自主研究フェスティバルが行われました。本校からは、「SS探究科学Ⅱ」化学ゼミの「アスコルビン酸グループ」と「香料グループ」、生物ゼミの「Satellite Team of タマキビ」と「アベハゼ班」の4つの班が参加し、プレゼン発表と展示発表を行いました。成果発表会では、和歌山大学や他校からも、福祉や情報、科学など幅広い領域についての自主研究活動報告がありました。審査の結果、化学ゼミの「アスコルビン酸グループ」と生物ゼミの「アベハゼ班」の2つの班が、佳作を受賞しました。



第1回わかやま自主研究フェスティバル講演会 ～小さな成功が次の目標を生む～メガスター開発記～ 大平 貴之氏

第1回わかやま自主研究フェスティバル講演会では、プラネタリウム制作者の大平貴之氏が「～小さな成功が次の目標を生む～メガスター開発記」についてお話してくださいました。大平貴之氏は、1998年に恒星数100万個の「メガスター」をIPS(国際プラネタリウム協会)ロンドン大会で発表された方です。その後開発されたメガスターⅡは、「世界で最も先進的なプラネタリウム」としてギネスワールドレコードに登録されています。お話の中で、プラネタリウム製作に取り組むようになったきっかけやメガスター開発までの経緯、レンズ式恒星投影機の構造、現在の活動などについて説明してくださいました。



SSH関係 1年間の予定(2年生)

4月から、SSHに関連した行事が始まっています。
詳しいことは、またSSH Newsで紹介しますが、1年間の流れは、右のようになっています。

- 4月 探究科学Ⅱ始まる。
ゼミ別研究室連携事業
テーマ別課題研究始まる。
- 7月 23日～25日
サイエンスツアー
(筑波・東京) 2泊3日
- 8月 SSH全国研究発表会
(東京・代表者)

その他、SSH成果発表会等があります。
詳細については後日。

